

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和4年12月 20日

事業所名 こぼんはうすくら恩名教室

保護者等数(児童数) 23 回収数 23 割合 100 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	21件	件	件	2件	1、2階で活動するスペースが分かれており、広いスペースで活動出来ていると思います。	
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	16件	1件	件	6件	子どもと近い距離でのご支援、専門的なアドバイスを頂いています。	送迎時等に保護者とのコミュニケーションを増やし、より理解が得られるようにしていく。
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	21件	件	件	2件	情報伝達・バリアフリーOK 見やすく活動しやすい工夫をいただいています。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	21件	件	件	2件	スペースも十分だと思います。	
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	23件	件	件	件	作成表あるのでOK	
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	21件	件	件	2件		
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	22件	件	件	1件	計画表も家族へ説明あり十分だと思う。	
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	20件	1件	件	2件	様々なプログラムをご用意頂いています。	
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	5件	4件	4件	10件	コロナ禍で活動する機会が減ってしまった。	社会情勢を注視しつつ、地域の活動に参加出来る機会を設けられるよう話し合いをしている。
	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	22件	件	件	件	説明頂きました。	
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	23件	件	件	件	説明頂きました。	
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	12件	2件	2件	6件		保護者のニーズを感じ取り、適切なアドバイスが出来るよう努めていく。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	23件	件	件	件	その日の本人の出来事をきちんと説明があり ありがたい。	
保護者 への 説明等	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	20件	件	件	3件	送迎時にも詳しく説明してくれる。	保護者のニーズを感じ取り、適切なアドバイスが出来るよう努めていく。
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	6件	5件	1件	10件	コロナなので無くてよい。	社会情勢を注視しつつ、安全に配慮して開催出来るか検討する。
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	23件	件	件	件	連絡帳に相談を書くことと見解や提案を しっかりと頂ける。	
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	23件	件	件	件	連絡帳やフィードバック等で いつもご配慮頂いています。	
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	21件	1件	件	1件	ホームページで発信して頂いています。	毎月の新聞以外でも、送迎時中心により詳しく説明をしている。
	19 個人情報の取扱いに十分注意されているか	23件	件	件	件	配慮頂いています。	
	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	13件	件	件	10件	訓練を実施していることは知りませんが あると助かります。	マニュアルがありますので、閲覧もできますので何かありましたらお問い合わせ下さい。
非常時 等の 対応	21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	9件	1件	件	13件	あると助かります。	半年に一度のペースで避難訓練を実施しています。周知できるようにホームページなどでもお知らせしますね。
	22 子どもは通所を楽しみにしているか	19件	3件	件	件	前施設より楽しく通所している。	
満足 度	23 事業所の支援に満足しているか	22件	1件	件	件	「今日もこぼん頑張る！」と言うようになり 初めて園でのイベントでも参加 できるようになりました。	

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4年 12月 20日

事業所名 こぼんはうすさくら 恩名教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	✓			
	2 職員の配置数は適切であるか	✓		利用人数に合わせて工夫をしている。無理のない受け入れ人数で運営している。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	✓		手すりやスロープ・エレベーターがある。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	✓		机やおもちゃなど移動をして環境を整えている。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している		✓		会議の日程を増やす。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	✓			
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	✓		本部のサポートにより毎年適切に行っています。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		✓		第三者評価を行っていません。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	✓		市で開催している研修に参加している。	なるべく多くのスタッフが参加出来るようにしていきます。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	✓		職員間でのコミュニケーションを密に行っている。	
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	✓			
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	✓			
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	✓		補助の仕方などもそれぞれに合わせて工夫をしている。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	✓		月でプログラムを作り、毎朝確認をフロアリーダーを中心に話し合っている。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	✓		月でプログラムが出来ている。なるべく固定にならないように工夫している。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成している	✓		完全個別は出来てないが必要に応じて行っている。	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	✓		フロアリーダーを中心に話し合っている。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している			出来る範囲で打ち合わせ程ではないが話し合っている。	最低限フロアリーダーだけでもどんな様子だったか把握できていると良いと思った。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	✓			より細かい内容についても記録して、共有出来るようにしていく。
関係機関や保護者	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	✓		日頃の様子を職員間で共有している。	
	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	✓		要請があった際にはやり取りを行っている。	
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	✓		相談を受けて適切に対応している。	
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		✓		該当児童が居ない。
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		✓		該当児童が居ない。
25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		✓		該当児童が居ない。	

保護者との連携	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		✓		情報交換できる機会を設けるようにする。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	✓		一部でやり取りを実施している。	気になる児童について、こちらからも発信して行けるようにしたい。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		✓		事業所を中心には行っていない。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		✓		機会を模索します。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている				送迎時や連絡帳で行っている。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	✓			必要に応じて対応をしている。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	✓			
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	✓			丁寧に説明をしている。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	✓			必要に応じて面談の機会を設けている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	✓			コロナ禍になり実施せず。社会情勢を注視しつつ、安全に配慮して開催出来るか検討する。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	✓			面談や電話で対応をしている。
非常時等の対応	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	✓			毎月の新聞発行などで対応している。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	✓			
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	✓			お子様に合わせたコミュニケーションツールで対応している。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている				自治体に属していない。
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している		✓		もう少し短い期間で行えるようにする。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	✓			定期的に活動に取り入れている。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	✓			連絡帳の記載などの情報共有をしている。
44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		✓		保護者から言われた対応で行っている。	
45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している		✓		作成しているが、件数が少ないのでもう少し多く共有をしたい。	
46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	✓			10月に研修を実施。	
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している				該当児童が居ない。	